

笑顔で接客する中五島高の生徒(左)ら＝新上五島町、カミティ



中五島高の模擬会社

新上五島町宿ノ浦郷の県立中五島高(前田達彦校長、55人)のビジネスキャリアコース3年生16人が運営する模擬会社「Ohana」は14日、町内4カ所で商品の販売実習「中高マルシェ」を実施した。

模擬会社は、ビジネス活動の実行能力や地域活性化を担う人材を育成する目的で6月に設立した。2020年から毎年、3年生が取り組んでいる。実習での販売品目は、オリジナルデザインのTシャツやポロシャツ、トートバッグ、全国各地から取り寄せた和洋菓子など。浦桑郷のショッピングセンター「カミティ」の特設店舗では、開店前から客の行列ができた。捕鯨ゆかりの町らしくクジラと美しい夜空の月をあしらったTシャツなど、地元の魅力をアピールしたオリジナル商品が目をつけた。

買い物に訪れた町国際交流員のグンジャン・シヤルマさん(50)は浦桑郷にはTシャツを購入。「すてきなデザインでとても

郷土愛販売実習で育む

オリジナル商品に行列

気に入った。上五島への愛があふれている」と絶賛した。

模擬会社の副社長を務める富野七海さん(17)は「準備の大変さを知り、そうした努力があるからこそ自分たちも買いたい物できているんだと実感した。対面販売はコミュニケーション力を上げる貴重な経験になった」と話した。

この日は約60万円を売り上げた。商品を一新して12月にも販売実習をする予定。

(平田有子)